



1.17 避難訓練から

1月17日(金)、地震・津波を想定した避難訓練を行いました。発生時刻はあえて13:40。清掃活動中です。アラーム訓練(①)に続き、舎外へ避難し、整列、安否確認(②)、この間に教職員は、校舎等の安全確認。

その後、大津波警報の発表を想定し校舎3階へ避難開始。今回の訓練は、ここに重点を置きました。避難経路に地震での落下物等を設置し、児童の切実感を高めました。落下物としてのコーン、コーンバー、ペットボトル、蛍光灯やガラスの破片としてペットボトルキャップなどです。避難中、これらを蹴飛ばしたり、踏みつけたりする児童は誰一人おらず、真面目に、真剣に歩を進めました(③)。ケガせずに移動することが自分の命を守るにつながっていることを、自分事として納得しているからです(④)。

避難場所の校舎3階へ階段をあがった時、防煙扉が閉まっているではありませんか。先頭に行く1年生児童は5秒悩みました。後ろに先生は来ているけど、待っていたらここにどンドン人がたまる。さっとノブを引いて自分で扉を開けて進みました(⑤)。すばらしい決断力ですし、前回訓練での経験を生かした行動力の発揮だと感じました。

3階の避難所(家庭科室、音楽室)で、今回の訓練の振り返りを行い、いつでも、どこにいても命を守る人になろうとの決意を新たにしました。

1.17。阪神淡路大震災が発生したこの日に、避難訓練を実施することに意義があると考えます。何より防災学習を指導する教員の意識が更新されます。今回も、避難シミュレーションの場作りを行ったことで、児童の避難への切実さは格段と高まりました。ご家庭でも、いざという時の避難場所やそこへの経路等について話し合う機会をお持ちいただければ幸いです。

